

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2021

11

題無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	13
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 9月句会	23
川柳吟行会「ぼ」	30
十和田たてがみ川柳会 8月句会報	34
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	12
Infomation	37～

カンテラ

むかし

この原稿を書いているのは10月上旬。
先月末で緊急事態措置とまん延防止等重点措置が終了し、とりあえずほっとしている。

しかし、座の文芸たる所以の句会・大会があまりにも長い期間なかったので川柳に対する関心がうすれてしまったと話している会員がいたのでノホホンとしてはいられない。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

人生は活断層で出来ていた

村井規子

何だろう近すぎてぼやけるもの	斎藤泰子
とりあえず並ぶ真昼の長い列	須藤しのすけ
貰い泣き さあ掃除機をかけましょ	田中 薫
老人性いぼが吹き出たみぎひだり	鳴海賢治
付け睫毛3枚してはる曼殊沙華	岩根彰子
母は父だった父は父だった	田久保亜蘭
曖昧な基準で枝豆が煮える	三浦蒼鬼
鍋敷きはきつと私の味方よね	ひとは
漕ぎ出せばいいでしょう 舟なんだから	土田雅子
食べるから四の五の言うな生パスタ	渡邊こあき
賞味期限切れた卵の壊れ方	熊谷冬鼓
ガラケーがゆっくり歩く大通り	辻井洋子

辻井洋子さんは、スマホじゃなかったの？「大通り」を「ゆっくり歩く」のはスマホ利用者より「ガラケー」を使っているひとの方が似合いそうですね。「ガラパゴス携帯」の利用者ってまわりと関係なく悠然としている感じがあるからね…。違うかな。

B群

気づかないふりをしていくキツネ雨	旅 男
あの角を右へ回ればお葬式	笹田隆志
カギ穴の向うはきつと砂漠だろう	村上てる
ミステリーツアーのバスよ喜寿傘寿	吉田州花
根菜の固さぐらいで生きている	米山明日歌
ゴシック体の男になつてはぶつかる	芝岡かんぞん
狂い咲きそんな手口もあつたのに	葉 閑女
同化する黒いぶどうの沈黙と	吉見恵子
袋とじ開ければ秋の三原色	柳本恵子
鮭のカマ焼いて出番を待っている	守田啓子

守田啓子さん、何の「出番を待っている」のかわからないと困ります。でも、「鮭のカマ焼いて」というフレーズが後半に何を持って来ても無理なく引き受けてしまう不思議なパワーを持っていて「ま、いっかー」となりました。「それにつけても金の欲しさよ」みたいな、ワイルドカードみたいな魔力のあるフレーズですね。

C群

腹ペコのままの空母打撃群	小野五郎
魚臭するニンゲンならば信じよう	奈良一艘
編み棒のために私をほどこいてる	夏草ぶぶき
真夜中の校舎の「あっ」が動きだす	宮井いずみ
根っこまで見せて前書きだというの	ひとり静
椿にわずか遅れてしまふ落花音	きさらぎ彼句吾

小野五郎さん、「空母打撃群」は『米海軍が保有する戦闘部隊の一つ。1隻の航空母艦を中心に、それを護衛するミサイル巡洋艦やミサイル駆逐艦、攻撃型潜水艦、

補給艦などで構成される。(小学館デジタル大辞泉)ですよね。で、出撃する機会がない「空母打撃群」のことを「腹ペコ」と言っているようですね?もしかしたら、この「空母打撃群」って新型コロナウイルス感染拡大のため国会・大会に出席できない全国の川柳社のこと?

奈良一艘さん、「魚臭」ってさかなのなまぐさいにいいのことですよ。嘘か本当かわかりませんが、人間の祖先は海中で暮らしていた時期を経て陸に上がって来たという話があります。だとすれば、「ニンゲン」に「魚」みたいなところがあつて当たり前だつてこと、ということではないようですね。要するに、一艘さんはなまぐさい「ニンゲン」が好きだつてことだね。

夏草ふぶきさんは、「編み棒」を使った編み物が得意なのかな?で、普通の毛糸なんか使わないで、自分を解いて何かを作ってしまう。ん?ふぶきさんて素直に解けるの?中がこんがらがってるんじゃない?どんな編み物ができるのかな…。あれ?編み物をするのはふぶきさんじゃないの?

宮井いずみさん、凄いいものを見つけてましたね。今度その「真夜中の校舎」の「あつ」というのを掴まえて見せてください。「あつ」のいる「校舎」って何の学校だろう…。鬼太郎とか目玉おやじもいるのかな…。

ひとり静さん、その「根っこまで見せ」てるのって人間ですよ。ね?「根っこ」の生えているような人間があちこちにいるからなあ…。根っここの部分で最後の最後まで見せないものだけど、それを見せちゃつて「ここまですが前書きです」ってあんまりだよ。違ふ?

きさらぎ彼句吾さん、不思議なことを考えますね。何が落ちないと「落下音」は発生しません、何かが落ちたから一瞬後に音は聞こえる、そう考えるのが普通です。でも、「椿」の花はほかの花と違って先に音をさせてから落ちたいと考えているのかな?そうでない寂しいのかな?あれ?もしかしたらこの「椿」って彼句吾さんのことなの?

(了)

おかじょうぎ川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅10月月間賞

山頭火に出逢った西瓜食っていた

小野 五郎

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

根が生える座り過ぎてはいけません。
五・七・五脳内核酸ほら増えた
人生は活断層で出来ていた
持っているもつていないと花占い
あと一つアウト取れば来る明日

先月号の
お気に入り
満月にウインクしている活断層 むさし
昨夜空を飛んでいる夢を見ました。巨大な滝のそばに活断層があり、
夕方でしたが、私を通った後あの場所をむさしさん通ったかしら？

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

誰も止めないオリンピックで医療崩壊
ウィルスが総理の野望打ち砕く
不人気の椅子から降りて株上げる
コロナ禍で呆けが進んで鬱になる
3度目の正月もまたステイホーム

先月号の
お気に入り
ブランコは優柔不断また揺れる ひとり静
断捨離が進みません。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

戦った形のままにマスク捨て
袋とじ開ければ秋の三原色
三日月揺れているそれからを聞いて
月下美人やつとあなたに逢えました
シャープを一つだけつけ秋になる

先月号の
お気に入り
一日がモコモも拾えず流れてく 辻井洋子
コロナ終息したら、川へ洗濯に行くぞ。

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

自画自讃しても路傍の草紅葉
狂い咲きそんな手口もあったのに
月夜にはねことうさぎと栗最中
蠍座が三人そろいカルタ取り
輪の外でト音記号が弾んでる

先月号の
お気に入り
ノーマスクこの快感はノーパンツ 旅男
へえー、男の人ってそつなんだ。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

誕生日私の地図をたどる朝
にしまったオデンの味は母の味
淋しくて亡夫の引出しあけてみる
カギ穴の向うはきつと砂漠だろう
老いてなお可能性をあきらめぬ

先月号の
お気に入り
オブラートに包んでみても罵詈雑言 土田雅子
オブラートもぬらすと包めなくなります。上手に包みた
いものです。

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

鮭のカマ焼いて出番を待っている
私とは目を合わせないお月さま
おみやげにもらう自慢のふくらはぎ
秋うららここが上腕三角筋
長月の持ち上がりがない方の腕

先月号の
お気に入り
切腹の横一文字飛行機雲 笹田かなえ
怖いくらい清々しいです、かなえさん。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

ミステリーツアーのバスよ喜寿傘寿
現職続行だあれも来なくなる日まで
春夏秋冬 眠りほうける時刻表
リキュールはやくざ十五度だったなんて
虫さされ跡が消えれば月を見る月

先月号の
お気に入り

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

目が合うと吹きこぼれてた 花だった
会って 絶望して ようやく 吹っ切る
失恋の涙はさやさやがいいな
あやふやな4時には優しくもなれる
夜空から降ってきたんだ無力感

先月号の
お気に入り
埋めたならガリガリ君の棒たてよ 守田啓子
そうかガリガリ君の棒の下には なんかも埋まってるのね。
なんだべ？

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

ご褒美のりんごがひとつ落ちてきた
同化する黒いぶどうの沈黙と
黒ぶどう深まってゆく群れの中
降りてくる古い記憶の間歇泉
我がためのコーヒーカップこの時間

先月号のお気に入り

米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

夜の底しずめた人が浮き上がる
あとひとつ答えをだせば終わる夏
だまし絵の鳥の翼はすりきれて
確実なものなどなくて昼下がり
根菜の固さぐらいで生きている

先月号のお気に入り

夕風になってしまった両ちぶさ
わたしは、まだ片方だけが……です。
きざぎざ彼句書

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

お気に入りのカゴが履かせるスニーカー
バス停をひとつ歩いて二八蕎麦
食べるから四の五の言うな生パスタ
ゴマ豆腐十中八九君が正しい
イベントがすべて中止の誕生日

先月号のお気に入り

言の葉の木漏れ日しかと掬いとる
しかと掬いとった結果ですね。県川柳大会知事賞、おめでとございます。
吉見恵子

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

寝返りのカタチはいつも心張り棒
段ボールに山盛りのイガ栗を剥く
身を正し「やませ」を広辞苑に読む
ゆつくりと食べねばならぬ手打ち蕎麦
木曜はルビーポルトを眺める日

先月号のお気に入り

手と足が出てくる夜の掛時計
踊るのですね！
小野五郎

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

点滴に繋がれガレー船である
切腹に準備に取りあえず座薬
肉塊が転がる手術後のベット
情報を抑え黙秘する瘡蓋
遮断機が降りて表と裏である

先月号のお気に入り

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

生命線コスモス畠になっちゃった
月欠けてスキ刃毀れしてしまう
付け睫毛3枚してはる曼殊沙華
閻魔さま右の笑窪で昼寝中
天使突抜1丁目の波の華

先月号のお気に入り

仕事ですからと冷たいアイスの棒
今夏は散々アイスの世話になりました。アイスの棒を懇ろに供養しまひよ。
柳本恵子

上村夢香【うへむらゆめか・山口県岩国市】

午前四時ラ・カンパネラは辻井さま
迷いなし静かに照らすオリオン座
さあどこへワクチン済んで日は昇る
ペナントレース受験勉強どこへやら
格闘をしながら今日も草を刈る

先月号のお気に入り

おせつかいは止めなと月がわめきたす
まきこ
ついつい親切心を起こして、煙たがられるわたしです。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

もり蕎麦の平均斜度が二十五度
腹ペコのままの空母打撃群
腰かくびれている夜想曲
スロースリップ尾てい骨の蓋
夢も希望も無臭になつてきた

先月号のお気に入り

折戸洋

〔おりとひろし・神奈川県川崎市〕

トランプの金も賭けずに白熱し
立ち読みの足の辛さも何のその
満載の籠もつ婆の横はあり
一回も打てぬままにて三回目？
父親の悪癖継げる蛙の子

先月号のお気に入り

遮断機と次の電車をまっっている
肩の力が抜けて良い感じがする。

佐藤春子

熊谷冬鼓

〔てまがいとこう・青森県青森市〕

百均の釣り具セットの遊び方
又聞き之又聞き 今さらの今さら
賞味期限切れた卵の壊れ方
彼岸花寒さを待つていたんだね
イガグリと穴あきシート用意する

先月号のお気に入り

仕事ですからと冷たいアイスの棒
芯棒がいなくても意外と仕事は回ったりするけどね。

柳本恵子

きさらぎ彼句吾

〔きさらぎあくあ・青森県弘前市〕

ひとり又ひとりと逝つて咲く牡丹
しやぼんだまの今わの際の凍裂音
無いものねだりする海が溢れだす
椿にわずか遅れてしまう落花音
胸の亀裂をなぶりにきたか隙間風

先月号のお気に入り

目くじらがぶつかる 石の匂い立つ
旅男
他人を責めて責めて、溜飲を下げる哀しいひとばかり増えました。

斎藤泰子

〔さいとうたいこ・秋田県大館市〕

プライドを老人バージョンに崩す
日本の少年達へ秋日和
くしゅんくしゅん心も風邪をひくみたい
何だろう近すぎてぼやけてるもの
争わぬ方法論を闘わす

先月号のお気に入り

緑のオバさん中島みゆきのファイト
笹田隆志
なんてったって「緑のオバさん」ですもの。笹田さんの句の印象が以前と違つ気しますが、進化中？

笹田隆志

〔ささだたかし・青森県青森市〕

鉛筆と納豆があれば月になる
按摩さんが行路病者を処刑する
宇宙船で親子井出前する
明日という請求書つけ店じまい
あの角を右へ回ればお葬式

先月号のお気に入り

こっそりと手をつなぐから野火になる
まみどり
いいですね。野火になりたい！ドキドキします。

芝岡かんえもん

〔しばおかかんえもん・神奈川県横浜市〕

夕焼けや仮面を外す時がきた
ゴシック体の男になつてはぶつかる
みぞおちをえぐり続ける笑い声
煙突よつまらんはなしきいてくれ
病室が語り始めるこれからを

先月号のお気に入り

ほほえみは別料金になります
宮井いずみ
えっ…金とるの？ほほえみにもよりますがこのさい払いましょう。寂しいもんで。

城後朱美

〔じょうごあけみ・福岡県八女市〕

シントウが美味しい料理が好きになる
贅沢な暮らしの中に母といる
朝ドラも熱中症になりたがる
のっぺらぼうの兄に伝える母のこと
雨を掻き出し腱鞘炎になりたもう

先月号のお気に入り

心地よい痛み真夏のおでん鍋
三浦蒼鬼
猛吹雪の夜、暖炉をガンガン焚いて、大量のハーゲンダッツを食べる。アイスクリーム頭痛を我慢しながら（笑）

須藤しんのすけ

〔すとうしんのすけ・青森県弘前市〕

アリバイも勘亭流で二度届く
とりあえず並ぶ真昼の長い列
モザイクな理科教室のラベンダー
バラッドの言い訳刻む西の月
書き慣れた苗字明日は大安吉日

先月号のお気に入り

心地よい痛み真夏のおでん鍋
三浦蒼鬼
猛吹雪の夜、暖炉をガンガン焚いて、大量のハーゲンダッツを食べる。アイスクリーム頭痛を我慢しながら（笑）

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

国歌斉唱 特攻隊にはなれぬ
バラバラの三者を繋ぐケミストリー
人生は持ちつ持たれつ義理がある
和解するためなら足も舐めてやる
僕だつて心の奥に虎が棲む

先月号のお気に入り
Y字路に黒木香の濡れた声 須藤しのすけ
山田孝之主演の話題作『全裸監督』。引退後、消息不明になつていた黒木香はY字路に潜んでいたんですね。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

中途採用 オッパイが欠けていた
母は父だつた父は父だつた
連休はいつの間にかやら嘘をつく
本当はオレンジの雨憎かつた
舗装すら中途半端な渡月橋

先月号のお気に入り

旅男【たびお・青森県五所川原市】

気づかないふりをしていくキツネ雨
人のこと構つてられぬ秋も終
生存本能しぶとし蜘蛛の糸
死ぬほど辛いことがあることないこと
何てことないみんな忘れる心太

先月号のお気に入り
青空よ影のしつけができません むさし
野望のヤボめ私のしつけができません

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

ぬるま湯に浸つていたい廃れた日
貫い泣き さあ掃除機をかけましょ
二人の子いないないバー自粛の闇
聞き慣れた遠くの声源泉に消え
あーこれも性分しかたないのよね

先月号のお気に入り
見えない荷物担いで謎かけが続く 三浦蒼鬼
くなんか涙が、深いなあ

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

あなたとの仕切り直しに葉置く
カットして一日抱いていた虹
コスモスはまだ腕の日焼けをもう少し
ガラケーがゆつくり歩く大通り
ハラハラどきどきそしてワクワク波羅密多

先月号のお気に入り
勝手口開けたか太陽磨いたか 土田雅子
太陽を磨くって！仰天！

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

取り留めのないお話で、ご苦労さん。
漕ぎ出せばいいでしょう 舟なんだから
これからこれからつていつ始めるの
台風一過キリンがぞろぞろと
揚羽蝶ふわり霜月の足元

先月号のお気に入り
スカスカにされて寝床に辿り着く 芝岡かんえもん
今日一日、何とか無事に終わりましたね。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

草かんむりと竹かんむりの仲たがい
瞳孔が開いたままで行きましょか
真夏日の真がわからずに着るセーター
廃村のウランガラスに逢いに行く
編み棒のために私をほどいてる

先月号のお気に入り
手と足が出てくる夜の掛時計 小野五郎
これ見たことあります！

奈良一艘【ならいっそう・青森県弘前市】

魚臭するニンゲンならば信じよう
御無体は承知の上で煮干し蕎麦
ブルータスガフタリホドイルヒザノサキ
辛せでござるか老いるということは
力を込めるのは引き金を引く一瞬

先月号のお気に入り

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

情熱があふれでて雲のゆくすえ
老人性いぼが吹き出たみぎひだり
貧しきわたくしですがコラボしよう
日の丸の旗上がる朝日が沈む
三日遅れの日記帳に祖父母来る

先月号のお気に入り
命日の前日メロン特売日
こちよリズム感にのせられました。
須藤しのすけ

ひとは【ひとは・青森県黒石市】

姑になって背中がむず痒い
中立な立場を通す炊飯器
鍋敷きはきつと私の味方よ
同じ轍踏まないように塩コショウ
とりあえずスープ冷めてもいい距離感

先月号のお気に入り
ほらキミもアイツもジエネリック医薬品
私もジエネリック医薬品を飲んでます。
奈良一艘

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

暑さから逃れて寒さにも行けず
真夜中を抜き取る週末の体
遠ざける季節外れの筆づかい
その先を案じていますパンの耳
おだやかな一日たおやかに延ばす

先月号のお気に入り
六歳の瞳わたしを攻めまくる
なぜ、なあに？しっかり向き合ねば。
上村夢香

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

真人間から少し離れてみる夕陽
泣くことができる幸福感もいい
もしかして豚返りの忠告か
曖昧な基準で枝豆が煮える
照れ笑いの奥から昇る鎌の月

先月号のお気に入り

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

負けないでアミメキリンもいるじゃない
寝違えたように咲いてるオキザリス
根っこまで見せて前書きだというの
脛骨は笑っていれば育ちます
こんな日は愚かでいてるほうがいい

先月号のお気に入り
ナムロックわたしのキーポイントかな
テンキーを使いこなしているのですね。
田中 薫

まきこ【まきこ・青森県青森市】

モカ入れる最終章が香りだす
善人にもなれず小さな貝でいる
結論はまだか足元からつぶて
秋晴れの朝に綻び二つほど
余命なら私が決めるウフフのウ

先月号のお気に入り
この先が見える椅子なら辞退する
悪魔のささやきですね。さあどつする？
辻井洋子

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

真夜中の校舎の「あつ」が動きだす
償いは無花果ジャムにしておくね
共通の敵がええたら再起動
「かもね」とは岡倉天心流隠喩
星読みはダイヤの8を待っている

先月号のお気に入り
浦島は飽きた中央分離帯
本当にね。でも、だからって逆走したら叱られるしね。
岩根彰子

むさし【むさし・青森県蓬田村】

膀胱に沈没してる潜水艦
鼻の下から飛んで行かない赤とんぼ
コロナの街にタイムマシンが座礁する
満月に食われてしまう前頭葉
日焼けした円周率に縛られる

深艘心理

さあ皆んな一緒に濁りましょうよ

芝岡かんえもん

(会員雑誌集無人駅9月号より)

小学校五年生の時の話だ。その頃は年に一度五・六年生だけが参加できる映画鑑賞の日があった。映画館に入館出来るまでクラスごとに並んで待っていた。悪ガキ達と何気ない会話の中で「赤ちゃんはどこから生まれるか?」の話になった。臍から生まれると信じていた私はみんなから笑われて：今思えば考えられないほど純粹だった。

で、掲句だが、勿論そう言った意味での清濁ではない。結論を言えば、「人間生活において純度の高すぎるものは実用的ではない」という事なのだろう。

例えば宗教でも完全に整合性のある教えは実生活では実用的ではないし、色彩でも純度の高い色は合わせにくい。蒸留水が美味しくないように、料理の味もあまりク

リアな味は美味しくはない。むしろ何種類もの味を組み合わせたほうがより美味しいのだ。作業効率は無駄がないほうが良いけれども、人間の生活は無駄や矛盾があったほうが楽しい。政治思想もあまりに潔癖なものとは異なった意見を許容できずに肅清を生むし、容姿も性格もあまりに整った美人からは色気を感じない。

と言う訳で、人間は多少の濁りや矛盾がないと機能しないし何より楽しくないじゃないか：と掲句は言いたいのである。

かくいう私は余りにも濁り過ぎてはいるけどね。アツハツハ。

お待ちしております



▼投句者 (31名・到着順)

米山明日歌・夏草ふぶき・石橋芳山・安藤なみ・柳本恵子・吉田吹喜・宮井いずみ・吉松澄子・城後朱美・旅男・芝岡かんえもん・むさし・岩根彰子・葉閑女・村上あつこ・坂本清乃・郷田みや・まきこ・斎藤泰子・土田雅子・きさらぎ彼吾句・鳴海賢治・奈良一艘・須藤しんのすけ・笹田隆志・守田啓子・村井規子・まみどり・田中薫・熊谷冬鼓・笹田かなえ

おかしようき川柳社

10月ステイホーム句会

宿題『負』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

絶対に妻に勝つてはいけません
あつち向いてホイッ今日も素直な人でした
林檎むく負けるが勝ちと言うじゃんか
いもを焼くマイナス思考だったもの
さみしきの半分負担してあげる
母はいつから負んぶお化けになったのか
返しても返しても長男という負債
あの夏の黒木耳に負けました
「ごめんね」が知らない誰かから届く
あつさりと負ける男に髭がある
さようなら君の酸素は重すぎる
ベクベクベケレベクレルの負の遺産
嫁であり姑である古稀の空
負い目も縫い目もきれいな膝頭
夕焼けに背負うものあり理髪店
背負い投げしてみたい人がいるのです

城後朱美
まみどり
葉 閑女
まみどり
吉松澄子
きさらぎ彼句吾
宮井いずみ
守田啓子
須藤しんのすけ
城後朱美
芝岡かんえもん
旅 男
葉 閑女
安藤なみ
宮井いずみ
柳本恵子

月ほろろ母のおはこの負のオーラ
鬼灯に勝つて秋桜には負けるの
父さんに負ければ良かった寒い
某日の何か背負っている無口

土田雅子
笹田かなえ
岩根彰子
斎藤泰子

【五客】

負の列を選んで並ぶ癖がある
勝ったのは風のウロコを剥いだやつ
ラ行変格活用にかけてない
生き様の無限ループですなこれは
難民申請をしよう朝のトースト

まきこ
むさし
守田啓子
奈良一艘
奈良一艘

【人位】

父に習った狡いバナナの曲がりかた

芝岡かんえもん

【地位】

だからとした雨だダラダラとした首だ

奈良一艘

【天位】

茄子トマト負けてくやしい積乱雲

坂本清乃

たぶん、皆さんそうであるだろうが、私もそれなりの負けず嫌
いである。結果、負けたとしても、負けたことを認識する気持
ちにまた負けたくない、とややこしくなるのであるが、「負け
てくやしい」という決して言いたくない一言と、自分の少年時
代の「真夏の冒険」ならぬ「真夏の大完敗」の記憶が、茄子、
トマトの色鮮やかさとともに蘇ってくるのである。

宿題『振る』

青森県八戸市 笹田かなえ選

【佳作】

振り向いた海に商標権はない
赤べこを見習いなさい逆らわず
万人に尾を振る犬と暮らして
ごきげんよう 育ちの良さがでちゃってる
日本の振り子周回遅れでしょ
炭酸水じゃばじゃばオトコよ遊べ
縦にしか首を振れない飼育箱
振り逃げはいまもわたしの得意技
振りかざしてみれば小さな落とし穴
曲がる時振り向く癖が情けない
いい音がします湿ったチンチロリン
ぶるぶると生きる箸をもつ右手
アケビの立ち居振る舞い神無月
手を振って電車を追っていく役目
振り袖もタンスの中で萎れてる
ハイミーパパ言い訳お上手ね

石橋芳山
まみどり
柳本恵子
吉田吹喜
村井規子
奈良一艘
旅 男
芝岡かんえもん
鳴海賢治
斎藤泰子
夏草ふぶき
奈良一艘
守田啓子
安藤なみ
村上あつこ
土田雅子

日の丸を振る一人TVの前で振る

柳本恵子

ここからは私に塩を振る話

米山明日歌

マラカスシャカシャカ明治の前が江戸だった

土田雅子

振り出しの空を仰いでいるところ

斎藤泰子

【五客】

唐辛子を振ると私は美味くなる
尻尾振る準備はできたなすのへた
小さく手を振り夫の病室後にする
駒を振ってる最中に波がきた
のりたまをふりかけエイトマンになる

むさし
まきこ
城後朱美
鳴海賢治
石橋芳山

【人位】

六十の振り幅シート二枚干す

守田啓子

【地位】

多分もう会わない人に振る両手

熊谷冬鼓

【天位】

振り出しに戻るそぶりの桃ゼリー

熊谷冬鼓

【天位】「そぶり」がいい。桃ゼリーの擬人化、思わせぶりの雰囲気
を絶妙に引きだしている。手強し「桃ゼリー」【地位】「両手」が効
いている。満面の笑みで「振る両手」。大人のお別れ。「お元気で」
【人位】「振り幅」に唸った。「シート二枚」も上手い。やつと六十。
まだ六十。風にはためくシートが眩しい◆たくさんの作品、ありが
とうございました。

宿題『自由詠』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

かかしロード一本足の僕も居る
 かきくけコロナ菜の花泣きぼくろ
 たぬきからもらったつやつやの木の葉
 ぬりすぎたわたしはどこにおりますか
 燃料棒をペロペロ舐めてはいけません
 一抜けたあとの青空目に染みる
 花火ドン最終章が動き出す
 過呼吸のモグラのままで老い進む
 パプリカの中でこっそりONとOFF
 読むともなく寝るともなく寝たらしい
 記念樹も僕もかりかりしてきたね
 そうですね甘酒茶漬けありますか
 副反応でした対人恐怖症
 胃袋に鬼一匹を住まわせる
 修正はきかない白髪ひげの反古紙
 闇一枚ヨイシヨと剥し今日とする

坂本清乃
 奈良一艘
 斎藤泰子
 芝岡かんえもん
 笹田隆志
 葉 閑女
 まきこ
 熊谷冬鼓
 郷田みや
 旅 男
 岩根彰子
 安藤なみ
 守田啓子
 まきこ
 笹田隆志
 まきこ

「チャレンジ川柳! むさし流!」のブログはこちらから

じいさんが逝くバス停はどこ
 手を抜くとすぐに出てくるオバアサン
 米を研ぐ友が来た日も来ない日も
 周囲より少し汚れて生きてきた

鳴海賢治
 吉田吹喜
 城後朱美
 村井規子

【五客】

壊れかけのレディオに救命措置無用
 沈んではいけないが浮かんでもいない
 斜め横断されたところが痒い夜
 ダリア咲く売り家の札そのままに
 森生み了えたら空蟬になつてた

奈良一艘
 まみどり
 米山明日歌
 葉 閑女
 きさらぎ彼句吾

【人位】

黄昏とまだシンクロができません

芝岡かんえもん

【地位】

盲腸の朝鮮半島を切除

石橋芳山

【天位】

笑われる角度でお待ちしています

まみどり

「笑われる角度」って何の角度だろうとしばらく考えたが分からなかったので、この句を最初ボツ句グループに置いた。しかし、気になつてしょうがないので1回目を選を経てから入選句のピリへ移動。ところが、2回、3回と選が進むにつれて這い上がり、ついに天位まで上り詰めた。「角度」は「物事を見る、その立場。視角。観点。」と広辞苑にある。

『アウガ川柳教室』のお知らせ

【場所】青森駅前「アウガ」5階
 【日時】毎月2回 第2・4火曜日13時～14時半
 【講師】おかしょうき川柳社 代表 むさし
 【受講料】1回 500円

□ 11/9(火)「太る」 □ 11/23(火)「隣」 □ 12/14(火)「深い」
 □ 12/28(火)「後ろ」

●投句先：〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-3
 むさし宛 / TEL.0174-27-2008 / E-mail: hmusashi@r66.7-dj.com

川柳吟行会「ぽ」課題『坂』

いつも利用している青森市の施設がコロナで休館となり合評会は休会となった。今回は一人だけが特選という句が7句もあり、随分ばらけた印象だ。選が難しかったという意見もあつたが「坂」は良く出される題なので作りにくかったかもしれない。選をするにあたり、共感や意外性、仕立ての妙等、選の基準は人それぞれ。「妹を置く」「横顔のキュートな坂」をどのように解釈したか合評会で他の方の意見も聞きたかった。同じ句を選んでいても解釈の違いがコメントから読み解ける。そこを読み比べるのも楽しい。今回の参加は18名54句でした。(冬鼓)

【6点 特×3

だんだら坂を生前贈与いたします 小野五郎

【いずみ】事業か役職か、もうしんどくなった。早めに

【4点 特×2

横顔のキュートな坂が現われる 小野五郎

【朱美】横顔のキュートな坂って、どんな坂？きつと素敵な人が待っている坂なんだろうな。って！【こあき】そんな魅力的な坂が現われたのなら、ぜひ見に行かなくては。急坂で手に負えない人？

白桃を深読みしてる秋の坂 守田啓子

【吉見恵子】デリケートな「白桃」であれば確かに深読みしてしまえそう。もの思う秋の坂から、くれぐれも転がさないように。【文音】白桃の白い果肉に魅せられて、自分の来し方も深く考えてしまう。秋の坂を人生の中途と読めば尚。

【4点 特×1・佳×2

尾根までは母の背中が見えていた 滋野さち

【規子】最近の母は背も小さくなり、存在そのものが有難味をましています。一日でも長く背が見えていて欲しいと思います。【旅男】尾根からはもう展望がありますから母の背中是要らないでしょう。【五郎】さりげない情景の中に溢れるペーソス。

継承してもらってひと息入れたいという気持ち、よくわかります。【冬鼓】一段ずつ次第に高くなっていく段だら坂。そんな生き方を子や孫には見せてきた。贈与は財産だけとは限らない。【ふぶき】生前贈与だから子供たちか親しい人に贈与するのかと。肩の荷をおろせるならそれもいいかと共感しました。

【6点 特×1・佳×4

坂道の途中に母の塩むすび 渡邊こあき

【夢香】お母様のやさしさと格別な味が感じられます。【紫の園】「母の塩むすび」にグッと魅かれて、母の愛情がこの言葉で満ち溢れている。【旅男】母の励ましの褒美でしょうか。「尾根までは」の句と似ている。母を引っ張り出す手はよくある手。【さち】苦しい登りを応援してくれるのか、老境にさしかかかって思い出されるのか。誰もが想い出のおむすびを持っている。【ふぶき】坂道の途中にこんな塩むすびがあつたら頑張れるよね。

妹を置く ゆるくなる勾配 守田啓子

【隆志】勾配がゆるくなった坂のところで、妹を置くというのは、ドラマを感じておもしろい句です【いずみ】急坂のあいだは背負って、なだらかになると降ろしてやるなんて優しいなあ。【ふぶき】身内って普段は意識しなくても心の支えになってるんだと思うのです。

【3点 特×1・佳×1

自転車は下る中秋蹴散らして 吉見恵子

【柳本恵子】何か青春ドラマのように坂を自転車を下る秋の空気感いっぱいの中、とても気持ちの良い句ですね【いずみ】せつかくの秋の美しい景色も自転車で坂を下れば吹き飛んでしまう。

【3点 佳×3

平坦が恐いと言った坂の人 福田文音

【冬鼓】坂の人の表現が独自。平凡で安穩な毎日退屈と思うタイプか。【規子】うっかりしていると落とし穴があるかも。田中陽希さんなどは山道に慣れすぎて逆にそうかなと思いました。【隆志】平坦が恐いという人は坂の上においてほしい。

ぬくもりを信じた月がおりてくる 夏草ふぶき

【紫の園】ぬくもりを信じたからこそ、月が私の元に降りて来るとはロマンティック。【夢香】いつの間にかそつと光が射ってきて……。【隆志】今大事なことは、ぬくもりだと思えます。

夫婦残照坂の途中の吾木香 吉見恵子

【さち】さびさびと美しい状況がうまく整いすぎて上手いが少し物足りない。【夢香】お互いを想う気持ちがいみじみと……。【文音】ほのぼのとした夫婦像を感じました。

【2点 特×1】
大いなる上がり框のひとつ跨ぎ 旅男

【彰子】「上がり框」に懐かしさと時間の流れを感じた。幼い頃上がり框は関門であり、壁であった。小説の出だしの様で驚愕された。

たとえば愛たとえば坂をころげおち 柳本恵子

【さち】今世間を騒がしている上つ方の恋話が浮かんで

と思えるようになっていくのでしょうか。みんな行く道天の坂。

【2点 佳×2】

男女坂それぞれ登り縁結び

紫の園

【柳本恵子】男坂は急な坂道、女坂はなだらかな坂上り切ったら結ばれる。今も昔も。【規子】私のこの坂は年齢的に言っても登り切ったのですが、どなたもいらっしやらなかったのでお一人様確定です。

日向坂46だったころ 渡邊こあき

【州花】私にも日向坂46はあった。【冬鼓】ちやほやされた時代。勘違いも多分にあったかも。

えらいこっちゃ平均寿命の坂こえて 柳本恵子

【吉見恵子】長生きが嬉しいか、苦しみか。次はぜひ体験談を。【五郎】軽妙、洒脱、コミカルの極み。

火野正平女誑しの坂つづく 岩根彰子

【州花】『桜桃忌大人はみんな嘘が好き』を思い出した。【こ

きたが、ユーモアが効いて坂をうまく愛にむすびつけて楽しい。破調が活き活きしている。

ゆるやかな坂道不倫と気付かない 城後朱美

【五郎】川柳でなければできない表現。乾いたユーモア。

還暦の未踏の坂へ差しかかる 吉田州花

【啓子】還暦より向こう側はまさに未踏の地。怖いですね！

富士山を担いで越える夢をみた 笹田隆志

【紫の園】凄い夢をみましたね、羨ましい。大成功をおさめる人間になりそうな壮大な句。

坂揺れて破産宣告したらしい 城後朱美

【州花】足もとが揺れなければ破産宣告はなかった。

午前二時トイレへ続く無縁坂 小野五郎

【旅男】やるせない、つらい、さみしい夜中のトイレ。死の隣。死んでいくのは確かにひとりですが、無縁とはせつない。どんどん辛くなって「もう死んだ方がまし」

あき【まず誑しの字にびっくり。今は陽のあたる坂道をチャリンコで走っていますよ。】

坂の途中のベンチャさしさだと思っ 柳本恵子

【朱美】優しさがにじみ出てる。ありがたいベンチ！【こあき】坂の途中にはやさしさが必要です。

【1点 佳×1】

上ってたつもりが下り坂でした 渡邊こあき

尾道の猫坂道をシャーリング 岩根彰子

埋蔵金を転がしてみる神楽坂 笹田隆志

空っぽの心転がす四畳半 夏草ふぶき

だらだら坂にナメクジの跡がある 城後朱美

前にいて坂道を行く赤トンボ 福田文音

海を見に山に行く心の俯瞰 旅男

坂ひとつ越せば秘密に逢うスタバ 吉田州花

十和田たてがみ川柳会九月（誌上）句会

【参加者】磯島雅男・漆館ミノリ・木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・城後朱美・瀧尻善英・中村英三・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

■宿題 『安心』

久保あざみ 選

【平抜き】

平和なら自然災害乗り越える
 高齢者マークがうながす安全運転
 楽しみに大学生活係語り
 安心な日夫妻が居てポチも居て
 異常なし健診結果見せられる
 安心のネジを緩めて判子押す
 好きな人たくさんいてる大丈夫
 母子家庭安心願い腕まくり
 主婦忘れ心安らぐ自由旅
 試験パス安堵の胸を撫で下ろす
 よく食べる母がいるからほつとする
 「お上手ね」明日の安心売るサブリ

漆館ミノリ
 中村 英三
 中村 英三
 齊藤 蛙井
 城後 朱美
 齊藤 蛙井
 村上 昌子
 村上 昌子
 漆館ミノリ
 木村奈生美
 木村奈生美
 城後 朱美
 村上 昌子

安心と不安交錯打つワクチン
 枯葉とは言われたくない運転技術

佐藤まさあき
 中村 英三

【秀逸】

原発を安心と言うから不安
 陽だまりの中でニコニコ輪が温い

村上 昌子
 瀧尻 善英

【特選】

居るだけで心休まるヒトがいい

高田 幸柳

■宿題 『新しい』

齊藤 蛙井 選

【平抜き】

新作と言われやっぱり欲しくなる
 また新たな手口ネットに誘う罠
 新しい靴が馴染んだ旅の朝
 新しい触れ合い胸の鍵を開け
 新しい替え刃だ軽く剃り上げる
 新調の靴に誘われ遠回り
 空もようまでもが気になる納車の日
 ティーンエイジャー一歩一歩が日々新た
 新じゃがが貴方好みの肉じゃがに
 手強いなコロナウイルスまずマスク

城後 朱美
 磯島 雅男
 佐藤まさあき
 木村奈生美
 磯島 雅男
 高田 幸柳
 高田 幸柳
 中村 英三
 中村 英三
 瀧尻 善英
 漆館ミノリ
 久保あざみ

今朝もまた畑のキュウリが皿の上
 新学期遅延廊下はがらんどろ
 新総裁首のすげ替えだけのこと
 新品の下着に明日を賭けてみる
 【秀逸】
 朝が来た昨日の顔を磨きます
 日めくりをシャツと剥がしてゼロに立つ

中村 英三
 磯島 雅男
 福田 芳記
 城後 朱美
 村上 昌子
 村上 昌子
 村上 昌子

【特選】

分け隔て無く新しい朝が来る

佐藤まさあき

■宿題 『哀れ』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

アフガンよ哀れ軍靴が踏み荒らす
 全没のみじめ助けるコップ酒
 新聞はコロナと空き家認知症
 今やつと微笑み返し見る遺影
 担がれて追われ哀れな菅総理
 夏が過ぎ物の哀れをよぶ木の葉
 自分より少し哀れな影法師
 貧乏神哀れな人が好きらしい

齊藤 蛙井
 木村奈生美
 久保あざみ
 村上 昌子
 磯島 雅男
 福田 芳記
 城後 朱美
 城後 朱美

IT化哀れじじばカヤの外
 親亡くし難民キャンプの子の腫
 線香花火ポツンと落ちて夏終わる
 喜びも哀れも摘む夫婦箸
 子離れができず哀れな親でいる
 くもの巣に飛んで来るよな赤とんぼ
 【秀逸】
 哀れみを超えて感動パラ五輪
 同情はいらぬ紅葉の春の夢

齊藤 蛙井
 佐藤まさあき
 佐藤まさあき
 木村奈生美
 高田 幸柳
 中村 英三
 高田 幸柳
 村上 昌子
 佐藤まさあき

【特選】

脱皮して短い夏の蝉が鳴く

佐藤まさあき

【十和田たてがみ川柳会11月句会案内】

【時】11月20日（土）午前10時から 【所】十和田労働
 福祉会館 【宿題】（各題三句詠）『馬』高田幸柳選／
 『牛』木村奈生美選 【互選】（一句詠）『兔』当日出席
 者のみ（句箋の裏に雅号記入）【席題】一題（三句詠・
 共撰）／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名【投句
 先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-21 十和
 田労働福祉会館 高田幸柳あて

■会費拝受【9月受付分】

高橋星湖（むつ市）/ まみどり（黒石市）/ 村井規子（大鰐町）/ 奈良一艘（弘前市）

■おかじょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆「暗い絵は容易である。一見暗い作品が深そうな錯覚に陥り易いが、明るい芸術こそ難しいのである。」近年、再評価されているという画家・菅野圭介の言葉である。絵の事を言っているのだろうが、なんとなく全国でも暗いと評される東北の川柳作品が言われているようでドキッとする。とりわけ、最近では東北の作家もそんなに作風は暗くはないと思うのだが、関西圏からしたら、まだまだ暗いほうだろう。とは言っても、東北の明るさと関西の明るさはまったく質が違うのだが、またそれは別の話として◆（なぜ、東北の川柳作品は暗いのだろう）と考えたことがある。地域的に恵まれていないから、不幸な題材か思いつかないとか（笑）、その原因説明は容易ではないと思うが、前述の菅野圭介の言葉が真実だとすると、大会・句会の戦略として、

「深そうな錯覚に陥り易い」暗い作品を出したほうが選ばれやすいから、という仮説に辿り着く。東北の柳社とはにかく大会・句会の点数大好き文化である。当然、選者も全員が一流とは言えないわけであるから、24時間テレビのような「感動ポルノ」や、「不幸ポルノ」のような「深そうな錯覚に陥り易い」暗い作品が自然と多くなってしまっているのではないだろうか◆とはいえ、明るければいいというわけではない。会場のウケだけを狙った作品や、それを披講して笑いをとりにいく選者もいたりして、なおさら、後半の暗い作品のために、会場全体を錯覚に陥れるための巧妙なフリじゃないかという二重の錯覚にささ感ずることもある（笑）◆「明るい作品」＝「笑い」でないとするなら、それはそれは深くて難しいテーマであると言える◆ Sin

□ 2022.01.15 第10回卑弥呼の里誌上川柳大会

【課題・選者】（各2句）『自由吟』津田暹・大西泰世共選/『変化』濱山哲也・鈴木順共選/『試す』阪本高士・樋口由紀子共選/『ポスト』横尾信雄・赤松ますみ共選/『夜』村山浩吉・木本朱夏共選【参加費】1,000円（切手不可）発表誌呈（4月初旬発送予定）【締切】令和4年1月15日（土）消印有効【投句先】〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲 2426-2 卑弥呼の里川柳会 真島久美子 電話・FAX 0952-52-1061【賞】各題特選1句に有田焼/各題佳作5句に図書券（その他サプライズ賞あり）【主催】卑弥呼の里川柳会【協力】毎週 Web 句会

□ 2022.01.31 2022年青森縣川柳年鑑「ねぶた」作品募集

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【応募料】3,000円（切手不可）【対象作品】残しておきたい自選10句・作品にタイトル（タイトル無しも可）【応募用紙】所定用紙またはA4用紙に楷書で、住所・氏名（姓と柳号・本名）・電話番号・年齢・性別・柳歴・所属結社（2社まで）【掲載内容】A5版の冊子に、作品・姓と柳号・住所・電話番号・所属結社（住所・電話番号の掲載は任意、その他はデータ資料として活用）その他不浪人賞、年度賞、蝶五郎賞、文芸コンクール、新聞の柳壇、東奥青少年少女文芸大会、各大会の記録・各結社の呈賞・柳壇トピック等【応募期間】2021年10月～2020年1月末日【発表】2022年4～5月予定【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟 年鑑係【問合わせ】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也（電話）080-5574-9297



川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町2-2-4 新町二丁目ビル6階
読者新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係
【掲載】毎週火曜日 / 【賞】秀逸には図書カードを贈呈

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2021.11.10 「川柳吟行会 ぼ」11月句会

【投句締切】11月10日（第2水曜日）【題・投句数】「葉」3句【合評会】11月17日（第3水曜日）アウガ5階で14:30～【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

□ 2021.11.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句（1月号分）

【締切】11月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】1/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2021.12.04 おかじょうき川柳社本社12月句会

【時】12月4日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】12月3日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『保』/『干す』/『自由詠』選者は当日の参加者より選出【席題】1題3句詠・2人共選【川柳ラボ】互選句「数字を使った句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com（守田啓子） ■投句、句会参加はおかじょうき川柳社会員のみとし、句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

□ 2021.12.08 「川柳吟行会 ぼ」12月句会

【投句締切】12月8日（第2水曜日）【題・投句数】『街』3句【合評会】12月15日（第3水曜日）アウガ5階で14:30～【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

□ 2021.12.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句（2月号分）

【締切】12月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】2/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

